



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月8日

上場会社名 株式会社 ソトー

上場取引所 東名

コード番号 3571 URL <https://www.sotoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上田 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 小澤 活人

TEL 0586-45-1121

定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	11,224	4.9	239	88.2	383	11.0	180	41.0
2018年3月期	10,704	11.2	127	72.1	430	35.6	305	43.4

(注) 包括利益 2019年3月期 327百万円 (%) 2018年3月期 263百万円 (68.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	14.16		1.2	2.2	2.1
2018年3月期	23.99		2.0	2.3	1.2

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	17,367	14,585	84.0	1,146.02
2018年3月期	18,273	15,421	84.4	1,211.72

(参考) 自己資本 2019年3月期 14,585百万円 2018年3月期 15,421百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	707	948	522	2,175
2018年3月期	1,236	375	526	2,938

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		20.00		20.00	40.00	509	166.7	3.3
2019年3月期		20.00		20.00	40.00	509	282.5	3.4
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		127.3	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,100	0.9	350	5.8	430	4.1	300	4.9	23.57
通期	11,500	2.5	400	67.3	540	40.9	400	121.9	31.43

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	13,933,757 株	2018年3月期	13,933,757 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,206,950 株	2018年3月期	1,206,943 株
期中平均株式数	2019年3月期	12,726,812 株	2018年3月期	12,726,859 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,751	1.0	450	17.3	577	24.4	444	30.5
2018年3月期	6,681	3.5	384	23.1	764	38.1	640	44.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	34.95	
2018年3月期	50.30	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	13,837	11,984	86.6	941.69
2018年3月期	14,442	12,486	86.5	981.14

(参考) 自己資本 2019年3月期 11,984百万円 2018年3月期 12,486百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資に底堅さがみられ、緩やかな回復基調で推移しましたが、米国政権の保守主義的な政策運営による米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題等による世界的な景気減速懸念の影響があり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

繊維産業におきましては、少子高齢化や消費動向の変化によりファッション衣料の消費低迷が続き、また原材料の値上がりが懸念される等、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、優れた感性と技術で新しい「価値」を創造するとともにグローバル展開を図り、安定的・持続的成長の実現を目指しております。

当連結会計年度の経営成績は、売上高112億2千4百万円（前連結会計年度比4.9%増）、営業利益2億3千9百万円（前連結会計年度比88.2%増）、経常利益は投資事業組合運用益が1億7千5百万円減少したこと等により3億8千3百万円（前連結会計年度比11.0%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の一部取り崩し等による法人税等調整額6千6百万円を計上したことにより1億8千万円（前連結会計年度比41.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(染色加工事業)

織物については冬物受注に回復の兆しが見られたものの、ファッショントレンドにおいてニットの低迷が続いている影響を受け、春夏物の受注が減少したことから、織物が39億1千3百万円（前連結会計年度比2.4%増）、ニットが33億9千8百万円（前連結会計年度比2.7%減）となり、売上高73億1千2百万円（前連結会計年度比0.1%減）、営業損益につきましては売上減と燃料及び原材料の値上等の影響により、営業損失5千1百万円（前連結会計年度は営業損失8千4百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

ニットを中心に市場が低迷していることやウール原料の高止まりの影響があるものの、得意先との取組強化と生産体制を改善し稼働率が向上したことにより、売上高33億8千3百万円（前連結会計年度比18.6%増）、営業損失1億1千4百万円（前連結会計年度は営業損失2億5百万円）となりました。

(不動産事業)

売上高5億2千9百万円（前連結会計年度比1.1%減）、営業利益4億5百万円（前連結会計年度比2.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ9億6百万円減少し、173億6千7百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2億1千4百万円増加、完成品が1億6千8百万円増加しましたが、現金及び預金が7億6千3百万円減少、機械装置及び運搬具が3億3千8百万円減少したことです。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ7千万円減少し、27億8千1百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が1億円減少したことです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億3千6百万円減少し、145億8千5百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が4億7千5百万円減少、利益剰余金が3億2千8百万円減少したことです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億7百万円の増加（前連結会計年度は12億3千6百万円の増加）となりました。主な増加要因は、減価償却費7億6千4百万円、税金等調整前当期純利益4億5千3百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額2億1千4百万円、法人税等の支払額1億9千万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億4千8百万円の減少（前連結会計年度は3億7千5百万円の減少）となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入7億5千9百万円であり、主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出11億8千1百万円、有形固定資産の取得による支出4億7千8百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億2千2百万円の減少（前連結会計年度は5億2千6百万円の減少）となりました。主な減少要因は、配当金の支払額5億9百万円であります。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ7億6千3百万円減少し、21億7千5百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	85.3	84.6	84.6	84.4	84.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	69.1	68.8	77.6	73.0	71.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	916.7	1,175.5	2,069.0	2,626.3	1,926.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、雇用や所得環境の改善が継続し、引き続き緩やかな景気回復が続くことが期待されますが、一方では、中国経済の減速や貿易摩擦の激化などによる海外情勢の変化やそれに伴う為替動向の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。また、本年10月には消費税の増税が予定されており、個人消費における節約志向の高まりが懸念されるなど厳しい状況が続くものと予想されます。

繊維産業におきましては、消費動向の変化によりファッション衣料の消費低迷が続くとともに、消費税の増税により消費が落ち込むことが予想される等、依然厳しい市場環境が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、引き続き染色加工事業とテキスタイル事業の連携を強化し、市場ニーズに沿った差別化加工の開発・提案を積極的に推し進め、スポーツ・インナー・ユニフォーム素材の生産・販売にも注力して事業領域の拡大を図るとともに、生産性向上とコストダウンにより利益の確保を図ってまいります。

通期の見通しにつきましては、売上高115億円（前連結会計年度比2.5%増）、営業利益4億円（前連結会計年度比67.3%増）、経常利益5億4千万円（前連結会計年度比40.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4億円（前連結会計年度比121.9%増）を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。

株主還元につきましては、安定的・継続的な配当を目指してDOE(連結純資産配当率)3.5%を目標としております。

当期末の期末配当金につきましては、上記の基本方針に基づき、期末配当は1株当たり20円、中間配当金の1株当たり20円とあわせ年間配当金は1株当たり40円とさせていただきます予定です。

また、次期の配当金は基本方針に基づき1株当たり年間配当金40円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

優れた感性と技術で新しい「価値」を創造するとともにグローバル展開を図り、安定的・持続的成長を実現いたします。

(2) 目標とする経営指標

ROE(連結自己資本利益率)5%以上を達成します。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

<構造改革>

コア事業である染色加工事業における安定的収益基盤を構築します。

- ①染色改革と省エネ活動を推進し、さらなるコストダウンを図ります。
- ②働き方改革を進め、生産性向上を図ります。
- ③社員教育を充実させ、従業員の意識改革を図ります。

<成長戦略>

染色加工事業とテキスタイル事業の連携を強化し、素材・加工開発を進め新たな市場を開拓します。

- ①スポーツ・ユニフォーム・インナー等事業領域の拡大を図ります。
- ②市場ニーズを的確に掴んだ商品開発・提案を推進し、グローバル展開を図ります。
- ③製品販売の拡充等、垂直展開による利益拡大を図ります。
- ④M&Aを視野に入れた新規領域、新規事業の確立を目指します。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは当面、日本基準を適用することとしております。なお、国際財務報告基準の採用につきましては、我が国における任意適用状況等を勘案しながら検討していく方針であります

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,951,840	2,188,111
受取手形及び売掛金	2,242,403	2,456,549
有価証券	402,092	130,159
完成品	242,121	410,819
仕掛品	504,686	535,922
原材料及び貯蔵品	482,167	442,672
その他	76,807	68,321
貸倒引当金	△8,060	△12,956
流動資産合計	6,894,059	6,219,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,518,671	1,419,139
機械装置及び運搬具(純額)	1,740,650	1,401,846
土地	1,246,069	1,353,319
リース資産(純額)	55,423	46,983
建設仮勘定	15,738	7,232
その他(純額)	97,425	80,187
有形固定資産合計	4,673,978	4,308,709
無形固定資産		
その他	40,135	88,810
無形固定資産合計	40,135	88,810
投資その他の資産		
投資有価証券	5,786,489	5,870,507
退職給付に係る資産	458,213	430,382
繰延税金資産	199,208	252,838
その他	222,260	197,328
貸倒引当金	△1,153	△1,153
投資その他の資産合計	6,665,018	6,749,903
固定資産合計	11,379,133	11,147,423
資産合計	18,273,192	17,367,023

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	597,513	638,149
1年内返済予定の長期借入金	5,000	3,000
リース債務	10,901	8,671
未払法人税等	148,752	138,049
未払費用	290,001	295,506
役員賞与引当金	4,000	7,000
その他	569,868	577,885
流動負債合計	1,626,036	1,668,262
固定負債		
長期借入金	17,250	14,250
リース債務	47,178	38,507
退職給付に係る負債	654,635	690,607
長期預り保証金	308,192	279,054
繰延税金負債	128,307	27,925
資産除去債務	63,300	63,300
その他	7,020	—
固定負債合計	1,225,883	1,113,643
負債合計	2,851,919	2,781,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,341,568	1,341,568
利益剰余金	11,379,296	11,050,475
自己株式	△1,362,202	△1,362,209
株主資本合計	14,482,861	14,154,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	888,998	413,964
退職給付に係る調整累計額	49,412	17,117
その他の包括利益累計額合計	938,411	431,082
純資産合計	15,421,272	14,585,117
負債純資産合計	18,273,192	17,367,023

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	10,704,593	11,224,985
売上原価	9,521,644	9,893,813
売上総利益	1,182,949	1,331,172
販売費及び一般管理費	1,055,943	1,092,130
営業利益	127,005	239,041
営業外収益		
受取利息	26,224	23,910
受取配当金	86,459	99,343
為替差益	—	4,708
投資事業組合運用益	180,985	5,646
その他	18,823	16,851
営業外収益合計	312,493	150,460
営業外費用		
支払利息	470	367
手形売却損	927	816
売上割引	1,065	1,272
為替差損	2,750	—
支払手数料	2,842	3,372
その他	643	378
営業外費用合計	8,699	6,207
経常利益	430,799	383,294
特別利益		
固定資産売却益	1,099	291
補助金収入	9,211	4,440
投資有価証券売却益	67,865	54,896
投資有価証券償還益	—	22,096
違約金収入	—	31,682
特別利益合計	78,177	113,407
特別損失		
固定資産処分損	13,922	43,417
減損損失	10,386	—
特別損失合計	24,308	43,417
税金等調整前当期純利益	484,668	453,284
法人税、住民税及び事業税	187,582	207,002
法人税等調整額	△8,168	66,030
法人税等合計	179,414	273,032
当期純利益	305,253	180,251
親会社株主に帰属する当期純利益	305,253	180,251

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	305,253	180,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,593	△475,033
退職給付に係る調整額	5,543	△32,294
その他の包括利益合計	△42,050	△507,328
包括利益	263,203	△327,076
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	263,203	△327,076

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,124,199	1,341,568	11,583,117	△1,362,084	14,686,801
当期変動額					
剰余金の配当			△509,075		△509,075
親会社株主に帰属する当期純利益			305,253		305,253
自己株式の取得				△117	△117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△203,821	△117	△203,939
当期末残高	3,124,199	1,341,568	11,379,296	△1,362,202	14,482,861

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	936,592	43,868	980,461	15,667,262
当期変動額				
剰余金の配当				△509,075
親会社株主に帰属する当期純利益				305,253
自己株式の取得				△117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△47,593	5,543	△42,050	△42,050
当期変動額合計	△47,593	5,543	△42,050	△245,989
当期末残高	888,998	49,412	938,411	15,421,272

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,124,199	1,341,568	11,379,296	△1,362,202	14,482,861
当期変動額					
剰余金の配当			△509,072		△509,072
親会社株主に帰属する当期純利益			180,251		180,251
自己株式の取得				△6	△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△328,820	△6	△328,827
当期末残高	3,124,199	1,341,568	11,050,475	△1,362,209	14,154,034

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	888,998	49,412	938,411	15,421,272
当期変動額				
剰余金の配当				△509,072
親会社株主に帰属する当期純利益				180,251
自己株式の取得				△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△475,033	△32,294	△507,328	△507,328
当期変動額合計	△475,033	△32,294	△507,328	△836,155
当期末残高	413,964	17,117	431,082	14,585,117

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	484,668	453,284
減価償却費	902,476	764,541
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	800	4,896
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28,066	30,821
受取利息及び受取配当金	△112,684	△123,254
支払利息	470	367
有形固定資産処分損益 (△は益)	12,822	43,125
減損損失	10,386	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△67,865	△54,896
投資事業組合運用損益 (△は益)	△180,985	△5,646
補助金収入	△9,211	△4,440
違約金収入	—	△31,682
売上債権の増減額 (△は増加)	108,681	△214,145
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,986	△160,438
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,169	40,636
未払費用の増減額 (△は減少)	△17,217	5,504
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44,525	△14,770
その他	38,426	39,044
小計	1,145,493	772,948
利息及び配当金の受取額	114,089	125,257
利息の支払額	△171	△294
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△22,911	△190,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,236,499	707,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	34,814	△0
有形固定資産の取得による支出	△456,722	△478,987
有形固定資産の売却による収入	1,100	300
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△1,181,702
投資有価証券の売却及び償還による収入	88,027	759,791
投資事業組合からの分配による収入	296,599	4,481
預り保証金の返還による支出	△1,800	△450
補助金の受取額	9,211	4,440
その他	△46,696	△56,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,465	△948,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△509,827	△509,491
長期借入金の返済による支出	△6,595	△5,000
自己株式の取得による支出	△117	△6
その他	△10,215	△8,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△526,755	△522,938
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	334,278	△763,729
現金及び現金同等物の期首残高	2,604,514	2,938,792
現金及び現金同等物の期末残高	2,938,792	2,175,063

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が83,468千円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が19,334千円増加しております。また、「固定負債」の「繰延税金負債」が64,134千円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前に比べて総資産が64,134千円減少しております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、内部管理上採用している区分により「染色加工事業」「テキスタイル事業」「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「染色加工事業」は繊維製品の染色加工を、「テキスタイル事業」は繊維製品の製造販売を、「不動産事業」は量販店に対する店舗の賃貸等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	染色加工 事業	テキスタイル 事業	不動産 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,316,266	2,853,242	535,084	10,704,593	—	10,704,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	287,713	7,538	24,562	319,814	△319,814	—
計	7,603,980	2,860,781	559,646	11,024,408	△319,814	10,704,593
セグメント利益又は損失 (△)	△84,498	△205,658	417,162	127,005	—	127,005
セグメント資産	8,927,378	1,735,636	464,731	11,127,746	7,145,445	18,273,192
その他の項目						
減価償却費	812,157	45,915	44,403	902,476	—	902,476
減損損失	—	10,386	—	10,386	—	10,386
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	426,639	31,085	37,129	494,854	—	494,854

(注)セグメント資産の調整額には全社資産7,145,445千円が含まれております。全社資産は、報告セグメントに帰属しない投資有価証券等であります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	染色加工 事業	テキスタイル 事業	不動産 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,312,492	3,383,373	529,120	11,224,985	—	11,224,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	304,244	6,664	23,835	334,744	△334,744	—
計	7,616,736	3,390,038	552,955	11,559,730	△334,744	11,224,985
セグメント利益又は損失 (△)	△51,730	△114,369	405,142	239,041	—	239,041
セグメント資産	7,924,488	2,151,219	397,050	10,472,758	6,894,264	17,367,023
その他の項目						
減価償却費	676,630	38,525	49,385	764,541	—	764,541
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	369,784	39,891	11,462	421,138	—	421,138

(注)セグメント資産の調整額には全社資産6,894,264千円が含まれております。全社資産は、報告セグメントに帰属しない投資有価証券等であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,211.72円	1,146.02円
1株当たり当期純利益	23.99円	14.16円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	305,253	180,251
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	305,253	180,251
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,726	12,726

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	15,421,272	14,585,117
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	15,421,272	14,585,117
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	12,726	12,726

(重要な後発事象)

該当事項はありません。